

令和3年4月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和3年4月15日（木）14時00分～15時20分
場 所 大井町役場 3階 301会議室
出席委員 夏莉一壽教育長、石井孝典教育長職務代理者、牧野誠一郎委員、
中條政夫委員、小島茂子委員
出席職員 石井浩二参事兼教育総務課長、内田憲治生涯学習課長、
山崎良徳社会教育主事、
【書記】山崎好之教育総務課副課長
傍 聴 人 なし
会議内容

- 1 開会 夏莉教育長から開会の宣言をする。
人事異動で昇格・異動した内田憲治生涯学習課長が自己紹介をする。
- 2 前会議録の承認 令和3年3月定例会の会議録が承認され、石井教育長職務代理者・
牧野委員が会議録に署名する。
- 3 教育長の報告
(1) 教育長の報告 資料により夏莉教育長が説明する。
(要旨)
3月定例会以降で出席した主な会議の報告をする。
人事や雇用関係では、3月31日の教職員退職等辞令交付式と町職員退任式、4月1日の町職員辞令交付式・年度初め式と教職員転任採用等交付式のほか、町教育委員会で雇用する会計年度任用職員への雇用書交付式を実施した。
また、来賓等の人数を縮小し各園・校では厳粛な中、感染症対策に色々と工夫を重ね、小・中の入学式、幼稚園の入園式が5日と7日に開催された。なお、相和幼稚園については新入園児がいないことから入園式は行われなかった。
この他に、コロナ対策を講じたなかで「町文化団体連絡協議会」と「町スポーツ協会」の新年度総会及び足柄上地区教育長会議に出席した。
(2) 各課・センターからの報告
①教育総務課関係事業報告 資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。
②生涯学習課関係事業報告 資料により内田生涯学習課長が説明する。
(石井教育長職務代理者)
地域学校協働活動推進事業は、こういったことからスタートするのですか。

(山崎社会教育主事)

今年度から学校図書館司書が入るので、学校図書ボランティアと司書との連携をこの事業でサポートしていきたい。また、各学校では地域人材を活用した様々な学習が展開されていますが、その橋渡しの役割をして進めていく予定です。

(夏苺教育長)

本年度から、初めて実施されるコミュニティスクールと地域学校協働活動推進事業の2事業については、すでに校長会で説明し、学校へは、職員会議等で説明していただいております。

(夏苺教育長)

今年の洋上体験研修はどのような予定ですか。

(内田生涯学習課長)

例年ですと8月に実施していますが、今回のコロナの関係で12月もしくは3月に実施する予定で、まだ正式には決定しておりません。

4 議 事

(1) 議決事項

- 議案第10号 大井町社会教育委員の一部委嘱替えについて
内田生涯学習課長が資料により説明する。

【質疑なし 委員全員の賛成により承認される】

(2) 協議事項

- 教育委員の幼稚園・学校訪問について
山崎教育総務課副課長が資料により説明する。

【コロナ禍を考慮し、昨年同様に見学のみの実施とし、教育委員の予定を確認する】

- 大井町立幼稚園・学校のあり方について
山崎教育総務課副課長が資料により説明する。

(要旨)

大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会議(第2回)の主な意見等を報告し、教育委員の御意見や感想を伺いたい。

(中條委員)

17ページに及ぶ会議録と取りまとめの作成ありがとうございます。

委員の皆様それぞれの立場や思いの中で意見等を述べられ、なるほどと思いました。今後、この御意見や感想等をどのようにまとめていったらいいのか、悩むところです。

今回の会議の中で感じたことは、相和幼稚園・相和小学校において様々な取組をしてきたわけですが、相和地区の持っている環境の良さ、いわゆる小規模園、小規模校の良さ、それが相和地区の幼稚園・学校の魅力であると感じました。

その他の意見にもありましたが、今後相和地区の定住化をどのように図るのか、といった政策であるとか、交通網の整備を含めたアクションを起こしていくことも必要があると感じました。

少子化の流れは続いていくわけですが、そのような現実を踏まえた時にこれからの幼稚園・学校のあり方について、再編を考えなければならない時期に来ていると思います。しかし、今すぐに幼稚園・学校の統合といったところまでは、皆さんの意見からは感じられませんでした。ただ、今後、例えば、保育園をどうしていくのか、認定こども園をどうしていくのか、それぞれ選択肢を作っていくことも大事なことであり感じています。

是非、教育委員の皆様からの御知恵をお借りできればと思います。

(石井教育長職務代理者)

学校の特色を出して、そこから学校を選択させていく意見があり、やはり時代が移り変わっていった、その時点時点でニーズや人の考え方が毎年のように変わっていると感じました。このコロナ禍の中でリモートワークが増え、都会に住むよりは田舎に住む方がいいのではないかなど、その時点時点で人の考え方は移り変わっているのではないかと思います。

しかし、何が大事かといえば、子どもにとって設備や学習内容よりは、先生が子どもに真剣に向き合っていくことが一番大切で、次に地域が学校を盛り上げていくことが大事であると考えます。幸い、コミュニティスクールの発足によって地域学校協働活動推進委員の方の参画もあると思いますので、学校へ出入りする方が増えれば徐々に内情も分かってくると思いますので、学校の内容が多くの方々に伝わっていくと思います。この機会に多様な皆様の御意見を聞いてそれを生かしていけばいいと思います。

(牧野委員)

学校は、学校で特色を設けて運営していければと思います。また、相和小学校へ入学したいという人はいるのですが、自然環境が良くても送迎の関係で通いづらく、自然と伸び伸びと学校生活ができて良いが、どうしても送迎が問題になるようで、御意見の中にも交通網の問題が上がっていました。

(小島委員)

相和幼稚園の園の雰囲気もとても良いですし、行事の時も素晴らしかったと思います。また、相和小学校も校風がとても良く、自然の中で地域の方の協力があってとても充実していると思います。その中で育っている子どもたちでするので何かとても素直な子どもたちです。

以前、地域活性化委員会が開かれた時だと思いますが、やはり交通についての問題が出されました。その時に町で公用車を出してくださるとのことで、現在小学生が一人ですが、篠窪から公用車で通っていて、非常に恵まれていると思います。

(夏苺教育長)

小学校については交通のことについて過去に聞いたことがあります。一方、相和幼稚園について今年度入園児が0ということを見ると、送迎バスが出ているのもかわらずという前提になってしまう。以前にも、話がありましたが、今年度も数名の方が入園を検討されましたが、一人もしくは人数が少ないとなると、それ以上は望まれなかったというのが現状です。当然、人数がある程度いればそういった方にも、今回入園されたのかと思います。ある程度の人数が確保できればとも思いますが、これも難しいのかとも思います。実際に先ほど説明がありましたように、1学年に5人または一桁という話が出ていましたが、これはどちらかといえば小学校教育に関わる内容ですが、ある程度、集団としての成立というところも考えていく必要があると思います。

これらの御意見を踏まえて、ある程度絞って、案ではないのですが、次回の検討委員会議に出して、ある程度の方向性を付けていかなければと考えております。次回は5月ないし6月を予定し、今年度は2回の会議を見込んでおり、内容をまとめていくのですが、その意見を踏まえて教育委員会定例会の議題としていきたいと考えております。

5 その他

○令和3年度主要事業について

各課長から資料により説明する。

○大井町立幼稚園の幼稚園評議委員に関する要綱について

石井参事兼教育総務課長が資料により説明する。

○今後の行事予定について

石井参事兼教育総務課長が資料により説明する。

6 閉会 夏苺教育長から閉会の宣言をする。